

Management Club Report

Oct.2024/Vol.262

Monthly Opinion 《25周年記念講演で語られたこと①》

先月29日、神奈川県民ホール6階大会議室において開催致しました弊社創業25周年記念講演会での講演概要をまとめました。講演には60名ほどの方がお集まりになり、私どもが挨拶を兼ねて行いました基調講演に続きまして、医療法人真稜会理事長の井上敬介先生とアイデンタルクリニック院長の桑名亜季衛生士。タスクデンタルクリニック院長の吉次良師先生と中神ひとみチーフ衛生士。医療法人博歯会宇藤歯科医院院長の宇藤博文先生と小林めぐみチーフ衛生士。医療法人峰瑛会理事長の濱克弥先生と常務理事の村井靖子衛生士の4 歯科医院8人の先生方にお話し頂きました。今回はアイデンタルクリニックとタスクデンタルクリニックの講演内容をお伝えし、宇藤歯科医院と峰瑛会は来月号でご紹介いたします。

1

DBM／歯科医院経営の本義を変えることなく伝え続けた25年



25年前の歯科界が共通して目指し始めたもの

「歯科医院の過剰」や「競合激化時代に入った歯科界」などと言われ出したのは、新設の歯科大学や国立大学歯学部から卒業生が送り出され開業し始めるようになった1970年代の終わりから1980年代初頭にかけてです。それは団塊の世代が20代後半から30歳という一人前の社会人として活躍し始め、産業界全体が活況を呈するようになった当にその頃です。当時の好景気に押された既存開業医もその動きに対抗するように分院展開が活性化して行き、歯科医院の新設ラッシュを迎えたのです。